名古屋YMCA　みつかる。つながる。よくなっていく。　No.785 2023

YMCA News 4

2023年4月1日発行
1952年5月13日発刊
毎月1日（月刊定価1部60円）
（購読料はYMCA会費に含まれています）
公益財団法人名古屋YMCA
〒464-0848
名古屋市千種区春岡1丁目2番7号
TEL052-757-3331 FAX052-757-3332
●発行人 中村　隆
●編集人 坂本清則

2023年度名古屋YMCA年間聖句をめぐって

日本基督教団南山教会牧師　**村山 盛芳**

「見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。」
（イザヤ書43章19節）

皆さん、名古屋YMCAの2023年度の年間聖句が決まりました！

ご存知でしたか、名古屋YMCAには年間聖句検討委員会という委員会があります。1年に１度開かれるもので、一昨年までは3人の牧師と総主事が相談して年間聖句を決定し、理事会・評議員会に提案して承認を得ておりました。昨年から、3人の牧師と総主事が相談し複数の聖書箇所を選び、若手のスタッフにプレゼンテーションし、スタッフに選んでもらったものを理事会・評議員会に提案して承認を得ています。新しい年度も、中心にこの聖句が置かれ、多くの方の心に聖書の言葉が届き、名古屋キリスト教青年会（YMCA）が希望を持って歩むことを委員一同心から願っています。

南山教会の牧師館には、庭があります。とても元気な、名前を知らない草がたくさん生えるので、きちんと庭の手入れをしようと昨年の秋にチューリップの球根を植えました。正確には、家族が植えました。冬には土のなかで寒さに耐えじっとしていた球根も、暖かさを感じて芽がぐんぐん伸びて、成長した茎の先にはふくらんだつぼみがまさに咲き出そうとしています。春の訪れを感じますし、確かに命が育まれていたことを実感しました。皆さまがこの文章を読んでおられる頃には、綺麗な花が咲いていることでしょう。

秋・冬と、地面には何の変化もありませんでした。目に見える範囲に何も起こらないことと、何も無いこととは同じではありません。私たちは、自分の目に見えること、自分の経験に従って、物事を判断します。それ自体は間違ってはいません。しかし、それだけでは、神さまの私たちへの働きかけを知ることができません。

聖句は語りかけます。最初は「見よ」との呼びかけです。なんとなく眺めるのではありません。昔の聖書（文語訳）では「視よ」と訳されています。信仰の目で、神を信じて神に期待して物事を視るのです。

何を視るのでしょうか。それは、「新しいこと」です。しかも、私たちではなく、「わたしは行う」と言われる、神さまのなさる「新しいこと」です。私たちの判断を超えた、神さまの行われる新しいことを視るのです。

感染病、自然災害、戦争その他不安を感じる出来事がたくさんあります。そのような現実に目を向ける時、希望を持つことは難しいでしょう。しかし、私たちの神さまは、新しいことをする、と約束しておられます。「新しいこと」は、「今や、それは芽生えている」のです。神さまは、私たちに先立って新しいことに取りかかっておられます。すでに始められているから、もう芽生えています。神さまのなされることを無視せず「視て」、すでに「芽生えている」「新しいこと」を信じて、この年を歩んでまいりましょう。

スペシャルな Fun!Camp!

名古屋YMCA本館内にある、学童保育『アフタースクールFun!』。毎日20名ほどの子どもたちが元気いっぱいに過ごしています。そんな子どもたちのお楽しみとして、2020年度からスタートした学童保育のキャンプ。その名も『Fun!Camp!』を3月11日～12日の1泊2日で実施しました。

当日の朝、集合した子どもたちはグループの発表や自炊の当番決めなどにワクワクして興奮していました。また、どこかソワソワしている様子が伺え、少し心配でしたが、いざ電車に乗ると、それぞれが意識してマナーを守り、グループの班長は自らメンバーへ声がけをしてくれるなど、安心してキャンプをスタートすることができました。

野外料理ではそれぞれ積極的に役目をこなし、みんなで

協力してできあがったカレーの美味しかったこと！その後はみんなでお風呂に入り、今日あったことをみんなで話し、そしてみんなで寝る。そんな、普段は体験できない楽しさを共有できたことが本当に嬉しく思いました。

2日目、帰る時間が迫る中最後に、「楽しくてあっという間だったね」と話すと、子どもたちの反応はなんとシーン…。ですが帰りのバスの中、小さな声で「楽しかった、またキャンプやろうね」と伝えてくれました。(感動してこっそり泣いたのは内緒です。)

いつものみんなとだから、何倍にも楽しい。大人も子どもも一緒に楽しんだ、スペシャルなFun!Camp!でした。

（アフタースクールFun!担当　中島 成美）

2022年度 合同ピアノ発表会

2023年3月19日(日)、瑞穂文化小劇場で「名古屋YMCA合同ピアノ発表会」が開催されました。3拠点から46名が参加し、日ごろの練習成果を披露してくれました。

緊張で何度も練習室を行き来する姿や、始まる前は「上手にできるかな～」と不安そうな様子も見られましたが、発表後には安堵と晴れやかな表情になり、「来年も頑張る！」と宣言していく子もいました。保護者の方や、ご指導いただいた先生等に見守られた中での素敵な時間でした。お友だちの演奏を聞く機会はなかなか無いので、この発表会はいい刺激になったと思います。

これからも楽しい音楽経験を通して、ますます練習への意欲が高まって欲しいと思います。

（担当スタッフ　成瀬 祥子）

卒業リーダー感謝会　『いつでも帰ってこい！』

この春、子どもやリーダーから愛された6名のリーダーが名古屋YMCAを巣立ちました。感謝会では、現役リーダーから卒業リーダーに向けて“贈る言葉”をプレゼントしました。卒業するリーダー一人ひとりのエピソードと共に、感謝やエールを届けることができました。

また卒業リーダーからは6人にまつわるクイズが出題され、共に活動してきた絆を確かめ合いました。例えば「〇〇リーダーならどう答えるか？」という難しいお題に正解すると、卒業リーダーも回答者も盛り上がりました。

今年卒業するリーダーは、人との繋がりを大切にしてきたリーダー達です。野外活動やキャンプ、その他の活動でも「子どものために」「周りのために」動く姿は、私たちの憧れのリーダー像です。素敵な背中を見せてくれてありがとうございました。YMCAは繋がり続けることができるホームです。だから恋しくなったら、いつでも帰ってきてね!!

（リーダー会長 今村 舞雪〔こっこリーダー〕）

日本語学院での学びを終えて

日本語学院生　ル チュン ハン

昨年の４月、「おかえり」の声とともに、816日の時を経てついに再び名古屋の地に足を踏み入れた。クラスメートたちとはオンライン授業で毎日顔を合わせていたが、実際に会うのは初めてだ。あの頃は、日本に帰ることなんて夢のようなことだった。

そしてあっという間に１年が過ぎ、私もこの学校を卒業する。ふり返ってみると、２Ｆのオフィスに座って先生に「日本の大学に入学したい」と、日本語と英語を混ぜて説明していたのが、昨日のことのような気がする。今、私は大学の入学試験に無事合格し、いろいろなことに忙しい。

これまでに、日本語の文法だけでなく、日本人としての生き方、異文化との向き合い方も学んだ。この学校で学んだことを大学に持っていき、私はこれからも頑張っていく。

総主事コラム

YELL（エール）

3月17日、日本語学校の卒業式が行われ、22名の修了生が次の目標に向かって旅立ちました。今年の卒業生は新型コロナの影響で留学プランの変更を余儀なくされ、やっとの思いで留学を遂げた学生たちです。学びを続ける在校生が卒業生のために贈った歌が「YELL」。その歌詞に「サヨナラは悲しい言葉じゃない。それぞれの夢へと僕らを繋ぐYELL♪」という一節があります。まさに卒業生の心情を見事に捉えた曲を選択した彼らのセンスに感心いたしました。いきものがかりが歌う冒頭の歌詞は、「踏みしめた足跡を何度も見つめ返す　枯葉を抱き秋めく窓辺に　かじかんだ指先で夢を描いた♪」この難しい歌詞の内容を理解し？見事に歌う留学生の学習能力の高さにも感心です。

私たちの幼稚園・保育園の卒園式では「こころひらき　分かちあえば　広い空が　ほほえんでる　神様の愛　感じられる　素晴らしい愛　みんな持っている♪」と讃美歌「地球家族」が歌われます。「素直になれば　やさしさとどく　争いごと　なくして行ける」「苦しみの声　聞こえたきたら　勇気出して　共に歩もう」と続く歌の最後は「僕ら家族　地球家族　一人一人愛されている♪」子どもたちの心の中に家族、お友だち、保育者の愛がしっかりと刻まれたことを願っています。神様の愛に包まれながら、共に過ごした仲間が大きく成長し、世界中に広がっていった時、きっと平和な世界が実現するのだと確信した豊かな時間でした。

（中村 隆）

トルコ・シリア大震災緊急支援募金

2月6日にトルコとシリアを襲った大地震では、多くの建物が倒壊し、多くの尊い命が失われました。被災者の方々は、凍える寒さに直面し、大きな困難の中での被災生活を強いられてきました。名古屋YMCAでは、3月初旬に急遽街頭募金活動を実施し、3月4日（土）栄地区では46,040円、3月5日（日）金山駅では52,221円の募金を頂きました。募金下さった皆様、募金活動にご協力下さった皆様に心より感謝致します。

なお、トルコとシリアにはYMCAがないため、頂いた募金は国際的なキリスト教ネットワーク団体であり、世界120ヵ国以上で人道支援等を行っている「ACTアライアンス」が行う被災者支援活動に用いさせて頂きます。

YMCAでは3月31日までトルコ・シリア大震災緊急支援募金を受け付けています。長期化が予想される避難生活の中、被災者の一人ひとりが大切にされ、健康が守られるよう、引き続きご協力をお願いいたします。

（国際協力担当　広瀬 謙一）

募金は下記QRコードの日本YMCA同盟にご送金いただくか、名古屋YMCA各館にお届けください。

募金ページQRコード

維持会員感謝・ご寄付感謝

（2023年2月21日～3月24日）

維持会員（継続）

相馬　静香　　加藤　朱美　　三口　大登
三口あゆみ　　柴田洋治郎　　山村　喜久
瀬口　昌久　　武田　尚子

賛助会員（継続）

ホーユー株式会社

寄付金

（トルコ・シリア大地震緊急支援募金）

加藤　明宏　　渡辺　真悟

（120周年記念募金）

森田沙世子

（一般）

藤掛　宏子

早天祈祷会

日　時　4月4日（火）7：45～8：30
会　場　名古屋YMCA５Fチャペル
奨　励　日本基督教団名古屋新生教会　安達 正樹 牧師

ワイズコーナー　4月例会の予定

名古屋 名古屋南山	4月11日（火） 19：00～	卓話　「がんと闘う」 講師　大橋　洋平氏	KKRホテル 名古屋
名古屋東海	4月13日（木） 18：45～	卓話 テーマ・講師は未定	ラ・スース ANN
名古屋 グランパス	4月 6日（木） 19：00～	卓話　「私の音楽とギター」 講師　グランパスメンバー 三井　秀和氏	名古屋 YMCA

お問い合わせ

名古屋YMCA	052-757-3331
YMCAこひつじ保育室	052-757-5530
南山ファミリーYMCA	052-831-6968
南山幼稚園	052-831-8271
神沢ファミリーYMCA	052-879-6300
YMCAかみさわ保育園	052-879-6222
名古屋YMCA日本語学院	052-531-0077
発達サポートYMCAつるさと	052-823-2021
かりやYMCA保育園	0566-62-8227

https://nagoyaymca.org

名古屋YMCA使命

「名古屋YMCAは、キリスト教精神に基づき、すべての人びとに、生涯にわたる学習の場と、社会参加の機会を提供し、相互の交わりと連帯を通して、共に生きる世界の実現を目指します。」

2023年度聖句

「見よ、新しいことをわたしは行う。
今や、それは芽生えている。」
（イザヤ書43章19節）